

総務文教常任委員会
所管事務調査資料
(令和8年4月23日)

(事務調査)

- ② 校舎維持管理事業（厚真中学校グラウンドの現状）について

生涯学習課学校教育グループ

1 事業目的

令和7年9月20日から21日にかけて発生した豪雨被害（3時間雨量140mm）により、崩壊したグラウンド法面の機能復旧を図る。これにより、生徒が安全・安心に教育活動を行える学習環境や、陸上グラウンドを利用する町民の安全で快適なスポーツ環境を早期に確保することを目的とする。

2 被災状況

詳細は、別紙1「被災状況・位置図」のとおり。

(1) 野球場グラウンド

- ① 法面の崩壊
 - ② 法面崩壊に伴う排水設備の損傷
- (2) 厚真中学校陸上競技場 ※令和4年施工
- ① 土砂流入
 - ② 陸上競技用内圏縁石及びポイント杭、表示タイルの位置ズレ

3 被災および復旧の経緯

(1) 過去の被災及び修繕履歴

時期	内容
令和6年 8月	大雨による野球場法面崩壊（陸上側及び新町フォーラム線側）
令和6年11月	野球場側溝修繕
令和7年 5月	野球場法面修繕
令和7年 9月	野球場法面崩壊（今般の被災）

(2) 被災時の降雨量

令和6年 3時間雨量101mm

令和7年 3時間雨量140mm

4 事業概要（別紙2）

(1) 野球場グラウンド法面復旧及び排水路改修工事

- ① 事業費
31,200千円（見込み）
- ② 工事内容
 - (ア) 崩壊した法面の復旧（3カ所850㎡相当）
 - (イ) 時間最大雨量73mm（※）を想定し、既存のU字側溝の規格をU240（内幅240mm）からU300（内幅300mm）へ大型化
※厚真町における過去10年間の降雨実績データ及び災害復旧基準による。

(2) 厚真中学校陸上競技場復旧工事

① 事業費

85,100 千円（見込み）

② 工事内容

(ア) 堆積土砂のすき取り及び路床整正（対象面積9,700㎡）

(イ) 日本陸連公認基準に基づく内圏縁石復旧（全長700m）

(ウ) 日本陸連公認基準に基づくポイント杭及び表示タイル復旧（331ヶ所）

5 今後の復旧計画

項目	令和8年度			
	4月～5月	6月～7月	8月～9月	10月～11月
補正予算計上	⇒			
国の現地調査	⇒			
交付決定		⇒		
契約（議決）		⇒		
工事施工		⇒		

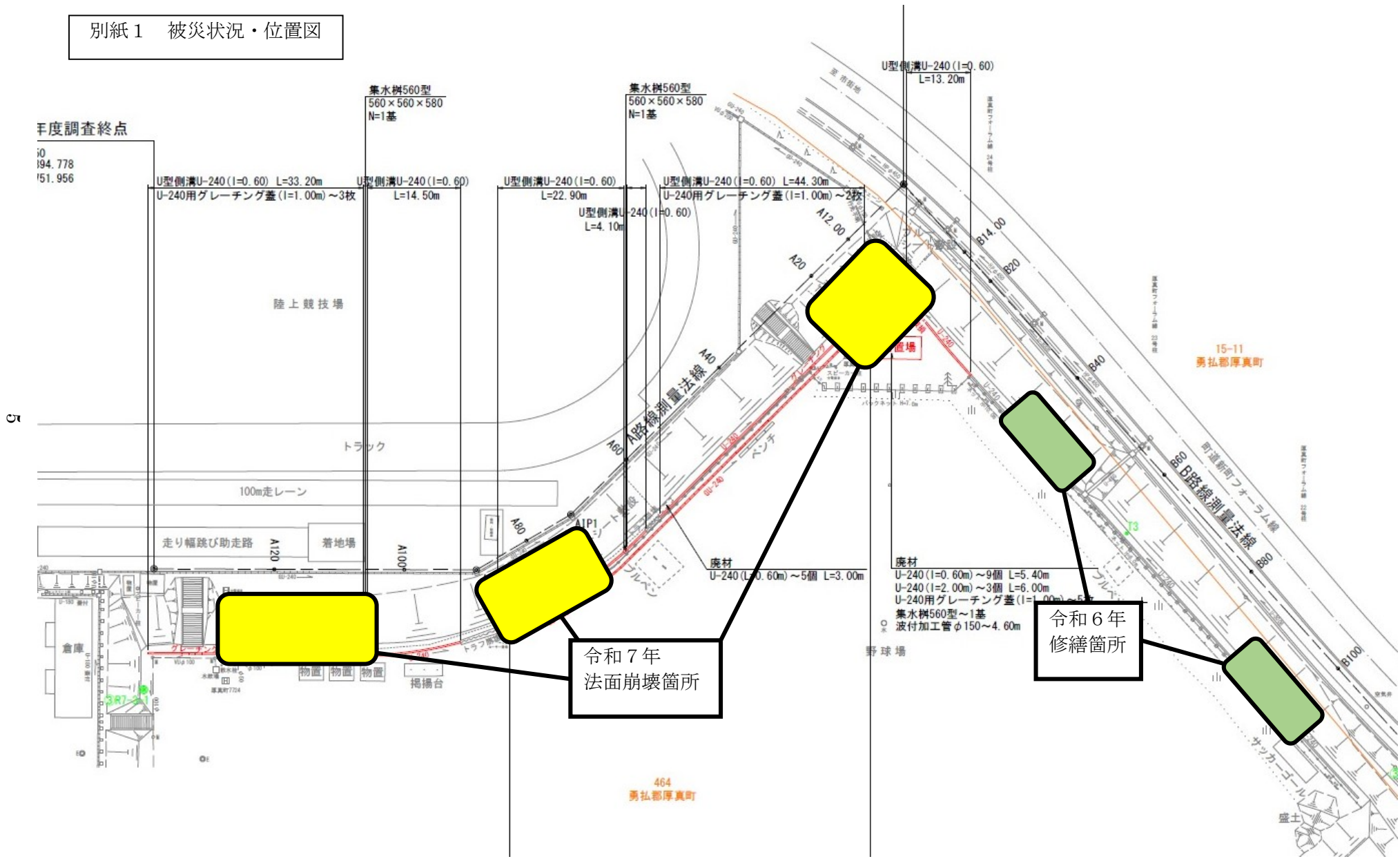
6 工事工程における留意事項

工事期間中の施設利用については、立ち入り禁止区域を明確にし、安全を確保した上での実施を徹底する。

グラウンド被災写真



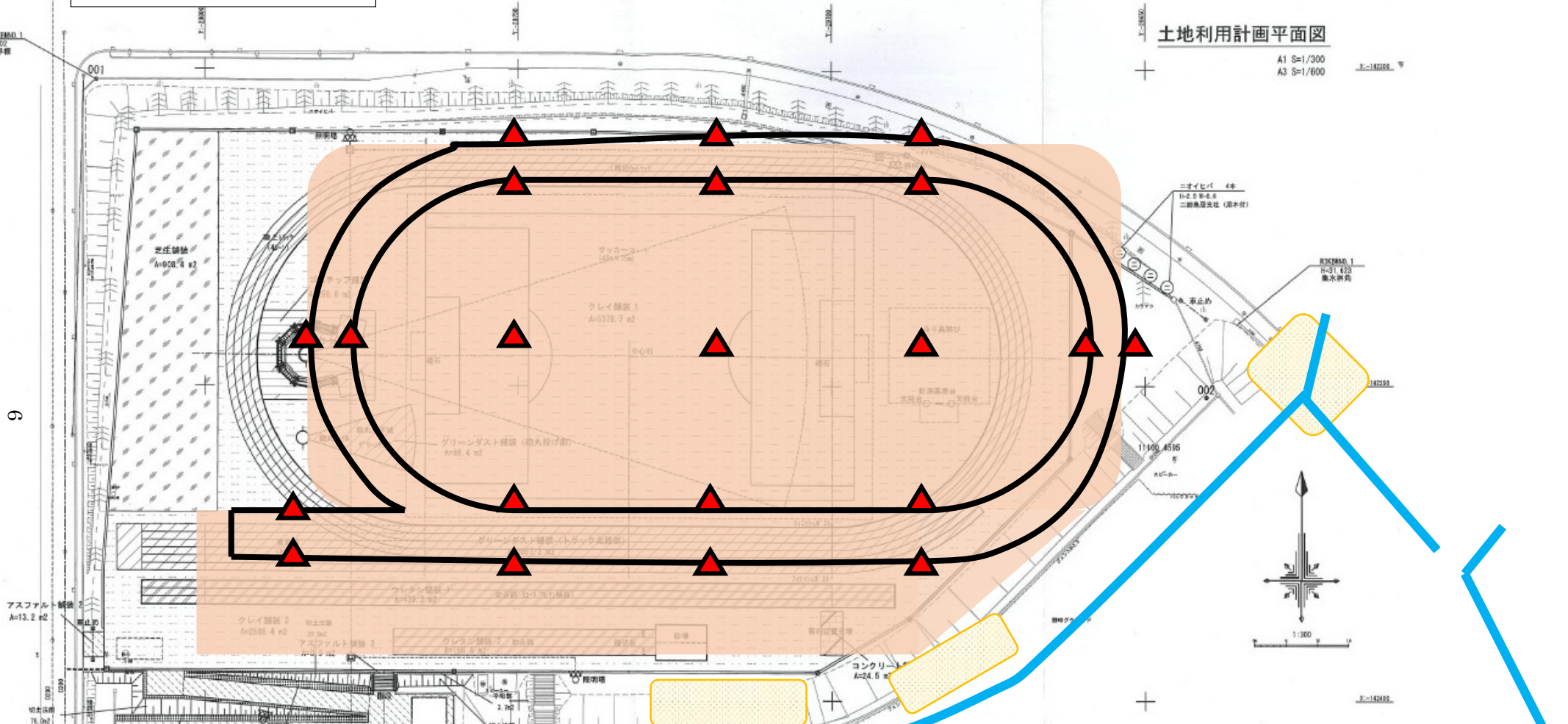
別紙1 被災状況・位置図








別紙 2 事業概要図面





土地利用計画平面図

A1 S=1/300
A3 S=1/600



凡例

-  U字側溝規格大型化
-  法面復旧箇所
-  土砂すき取り及び路床整正
-  ポイント杭及び表示タイル復旧
-  内圏縁石復旧

	クレイ舗装 工T=100	A= 7924.7 m ²
	芝生舗装 工T=100	A= 908.4 m ²
	グリーンダスト舗装 工T=200	A= 2155.6 m ²
	ウレタン舗装 工T=500	A= 607.6 m ²